

令和7年度 研究テーマについて

支援研究部

【研究テーマ】

子どもたち一人ひとりが、いきいきと主体性を発揮できる授業づくり

～教職員間の連携を深め、授業力向上をめざす～

【目的】

- ・教職員研修により、支援教育に関する確かな知識を身につけ、児童生徒の実態に即した、授業力向上を図る。
- ・難波版キャリアプランニングマトリックスを活用し、児童生徒一人ひとりのキャリア教育を見据えた授業づくりをめざす。
- ・授業見学シートや研究授業の討議会等を通して、教職員間の意思疎通を図り、連携を深める。

【研究方法】

1. 難波版キャリアプランニングマトリックス活用法の研修会を実施（4月）
2. 授業見学週間に他クラス、他学年、他学部の授業を見学する（6月、12月）
3. 研究授業の進め方及び、研究協議会の持ち方についての研修会を実施（6月）
4. 実践学習会を年2回実施（6月、11月）
5. 夏季休業中に教職員研修を2回実施（7月）
『自尊感情を高める』
『幸せに生きるための包括的性教育』～ 子どもたちをこころとからだの主人公に ～
6. 各部・各学年で研究授業と研究協議会の実施（9月～12月）
7. 研究内容を学校ブログに掲載

【まとめ】

昨年度までの3年間は、ICT活用をテーマに研究・研修に取り組んできましたが、今年度は「子どもの主体性」や「授業力向上」「教職員間の連携」をコンセプトに、多様なニーズや課題に対応できるように広い枠組みでテーマを設定しました。

昨年度の教職員アンケートでニーズの高かった「子どもたちの自尊感情を高める」内容や「幸せに生きるための包括的性教育」などの2本の研修を行い、研修後のアンケートでは、教職員の専門性を深められたという意見が多くあがりました。また、授業見学週間では、他学年・他学部の授業を見学したこ

とや、研究授業後の討議会で出た“意見”や“アイデア”を全校で共有する掲示板を設定したことで、教職員間の連携を深め、授業力の向上につなげる取り組みを行ってきました。しかし、まだまだ定着には至っておらず、今年度の課題を来年度へ活かす実践が必要です。

今後も教職員のニーズに合った研究・研修に取り組み、子どもたちに寄り添い、適切な支援が行えるよう、研究テーマを柱に取り組んでいきたいと考えています。